

科目番号	AB112,(AB212)				
科目名	救急救命				
担当教員	日本赤十字社兵庫県支部				
科目区分	一般教養		人材養成の方針	即戦力	リーダー
対象学年	1年		授業形態	実習	
開講時期	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	単位数
授業時間数	15		コマ		( 30 単位時間 )
実務経験のある教員による授業科目	○		左の実務経験の内容	日本赤十字社救急法救急員	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	—		左の実務経験の内容	—	
実務経験を活かした授業内容	救急救命、熱中症の救護、負傷者の救護等に関する、日本赤十字社救急法救急員有資格者による実践講習				

目的	現場において、また普段の生活において不慮の事故や急病の人に遭った場合の救急隊が到着するまでの正しい救命連鎖の方法を学ぶことにより、安全意識の高揚と社会への貢献を図る。
概要	日本赤十字社の救急法基礎講習及び救急法講習により赤十字救急法救急員を養成する。
キーワード	①救急法基礎講習(赤十字救急法、一次救命措置) ②赤十字救急法救急員養成講習(赤十字救急法救急員とは、急病、怪我、きずの手当、骨折の手当、搬送、救護)
関連する科目	
到達目標	救急救命、救護等に関する技術の習得
評価方法	検定試験50%、出席・履修態度50%

授業計画	テーマ	講義内容
1	救急法基礎講習	赤十字救急法について、手当の基本
2		観察(意識ありの観察)・保温、心肺蘇生
3		AEDの使用法、気道異物除去、基礎講習実技検定・学科検定
4	救急員養成講習	三角巾の基本、三角巾の包帯(額、耳、頭)
5		休憩時間の廃止、昼休みの時間短縮により1日で5コマ分の講習時間を確保
6	救急員養成講習	赤十字救急法救急員について、急病への対応、けがへの対応
7		きずの手当、三角巾の包帯(額、肩、手)
8		三角巾の包帯(前腕・下腿・膝・腕の吊り方・収納方法)、止血法
9		固定法、搬送法、救護、副子を用いない固定、検定要領の説明
10		休憩時間の廃止、昼休みの時間短縮により1日で5コマ分の講習時間を確保
11		副子固定
12	搬送法	
13	救急員養成講習	総合演習、実技検定
14		学科検定・総括
15		休憩時間の廃止、昼休みの時間短縮により1日で5コマ分の講習時間を確保

テキスト	赤十字救急法基礎講習教本、赤十字救急法講習教本
参考書	
関連する資格	日本赤十字社救急法救急員
備考	